

2026年3月期 第1四半期
決算説明資料



松田産業株式会社
2025年8月8日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

決算の概要（2026年3月期 第1四半期）



前年同四半期に比べ、売上高と営業利益、四半期純利益ともに増加

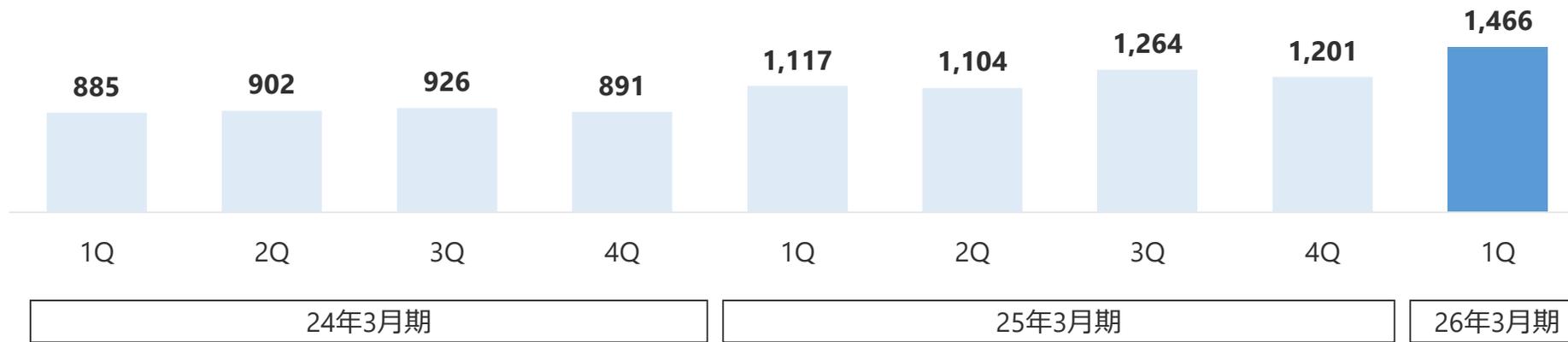
(億円)

	25年3月期 1Q実績	26年3月期 1Q実績	増減		26年3月期 通期見通し
売上高	1,117	1,466	+348	+31.2%	4,900
営業利益	31	37	+6	+19.7%	135
営業利益率	2.8%	2.6%	▲0.2pt	-	2.8%
経常利益	37	39	+2	+6.2%	143
四半期純利益	25	30	+4	+16.8%	100
1株当たり四半期純利益 (円)	99.5	116.2	+16.7	+16.8%	385.8

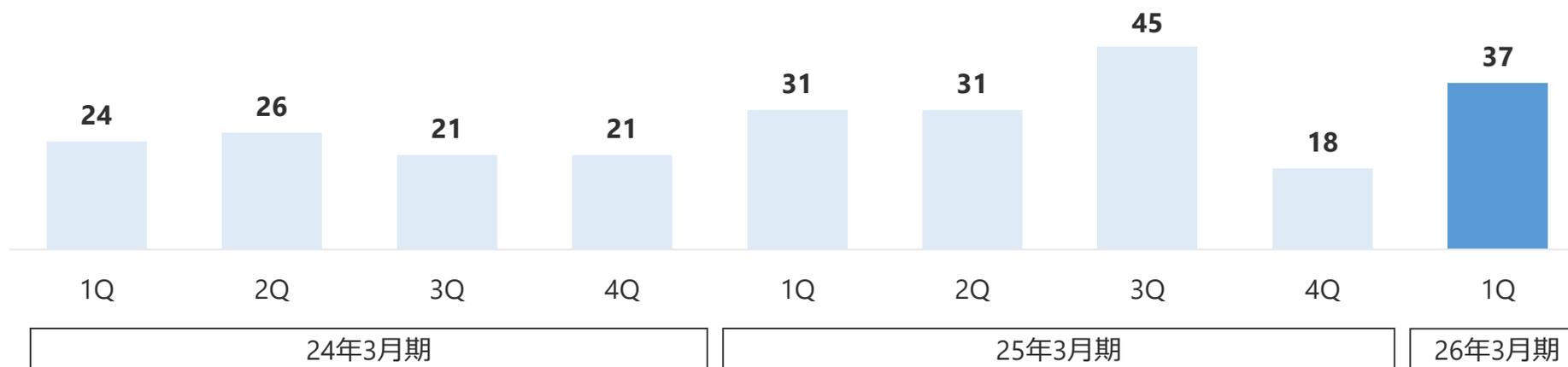
連結業績の四半期推移

(億円)

売上高



営業利益



連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)		
	25年3月期末	26年3月期 1Q末	増減	増減要因
流動資産	1,161	1,199	+38	(+) 売掛金の増加
固定資産	527	537	+9	(+) 工場設備の新設
資産合計	1,689	1,737	+48	
【負債の部】				
	25年3月期末	26年3月期 1Q末	増減	増減要因
流動負債	486	526	+40	(+) 短期借入金、前受金の増加 (-) 未払法人税等の減少
固定負債	201	193	▲7	(-) 長期借入金の減少
うち有利子負債	333	358	+24	
負債合計	687	720	+32	
【純資産の部】				
	25年3月期末	26年3月期 1Q末	増減	増減要因
純資産合計	1,001	1,016	+15	(+) 利益剰余金の増加
負債純資産合計	1,689	1,737	+48	
自己資本比率	59.1%	58.3%		

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	25年3月期 1Q実績	26年3月期 1Q実績	増減	26年3月期1Q実績の概要
営業キャッシュ・フロー	▲47	1	+49	(+) 税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加 (-) 売上債権の増加、法人税等の支払
投資キャッシュ・フロー	▲14	▲15	▲1	(-) 工場設備の新設
フリー・キャッシュ・フロー	▲62	▲14	+48	
財務キャッシュ・フロー	48	12	▲35	(+) 短期借入金の増加 (-) 長期借入金の返済、配当金の支払
現金及び現金同等物の増減	▲11	▲4	+7	
現金及び現金同等物の期末残高	132	109	▲22	

○ セグメント別の業績（貴金属関連事業）

- エレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、スマートフォンやパソコン、自動車向けの生産が低調に推移した一方で、生成AI向けのデータセンター・サーバー関連は需要が拡大したことで好調に推移
- 宝飾分野を含めた貴金属リサイクル取扱量の増加に加え、金相場の上昇も追い風となり、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加

(億円)

	25年3月期 1Q実績	26年3月期 1Q実績	増減			26年3月期 1Q実績	増減		増減要因
売上高	857	1,155	+297	+34.7%	金	898	+247	+38.1%	数量要因 +4.5%、価格要因+33.7%
営業利益	24	27	3	+15.2%	銀	66	+4	+6.8%	数量要因+0.4%、価格要因+6.4%
営業利益率	2.8%	2.4%	▲0.4pt	-	白金族	123	+15	+14.6%	数量要因+16.7%、価格要因▲2.1%
					その他	66	+30	+82.0%	

セグメント別の業績（食品関連事業）

- 食品製造業界は、食の多様化によるニーズへの対応や、国内消費の節約志向が高まる中で、好調なインバウンド需要が景況感を下支え
- 水産品、畜産品、農産品の販売量は増加し、高騰する原料価格や物流コストを販売価格に適切に転嫁した結果、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加

(億円)

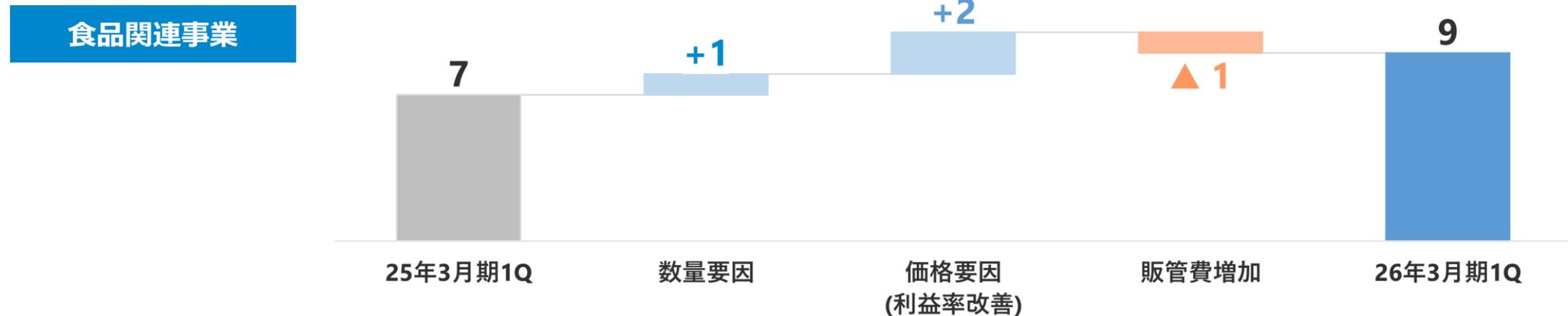
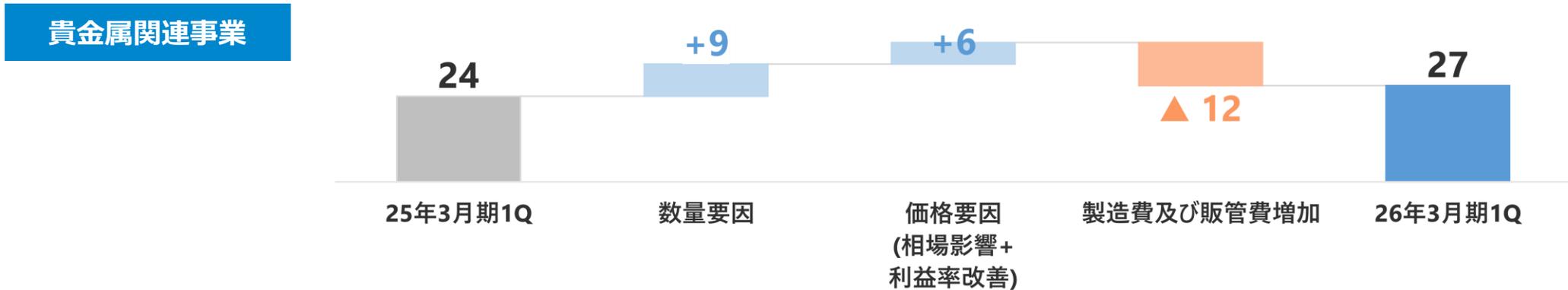
	25年3月期 1Q実績	26年3月期 1Q実績	増減	
売上高	260	311	+50	+19.5%
営業利益	7	9	+2	+35.1%
営業利益率	2.7%	3.1%	+0.4pt	-

	26年3月期 1Q実績	増減		増減要因
水産品	120	+16	+15.9%	数量要因+0.5%、価格要因+15.3%
畜産品	132	+24	+22.5%	数量要因+11.7%、価格要因+10.8%
農産品	35	+0	+0.3%	数量要因+0.5%、価格要因▲0.2%
その他	22	+9	+80.2%	

営業利益の増減

- 貴金属関連事業は、電子デバイス分野での緩やかな数量改善、宝飾分野での数量増加、金相場上昇が貢献
- 食品関連事業は、販売量が増加し、コスト適正化や価格転嫁などで利益率を改善

(億円)

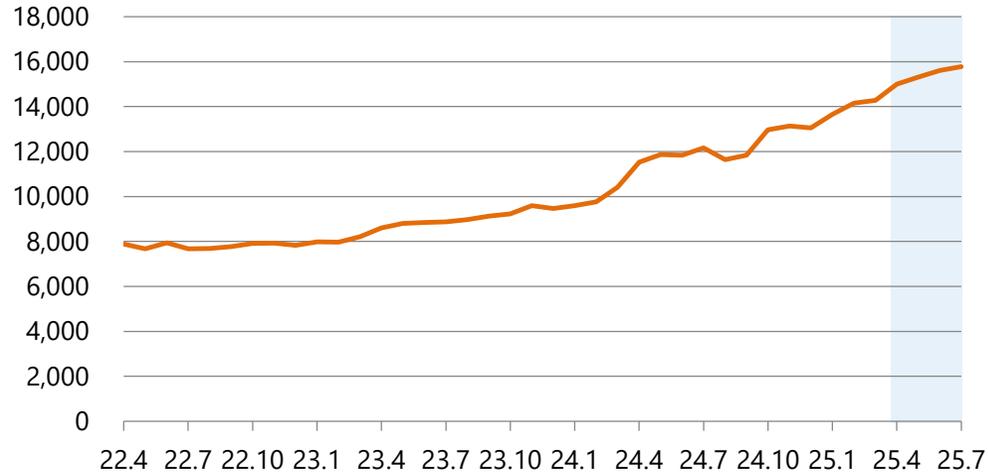


Appendix

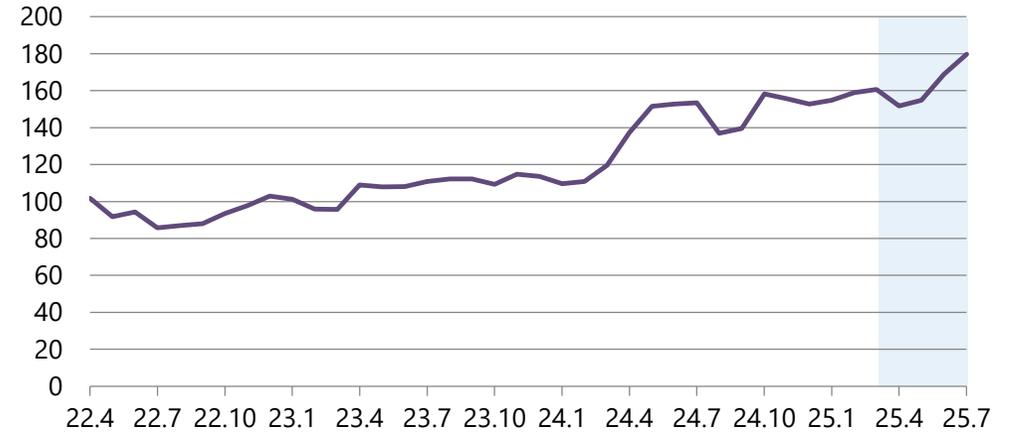


貴金属相場の推移

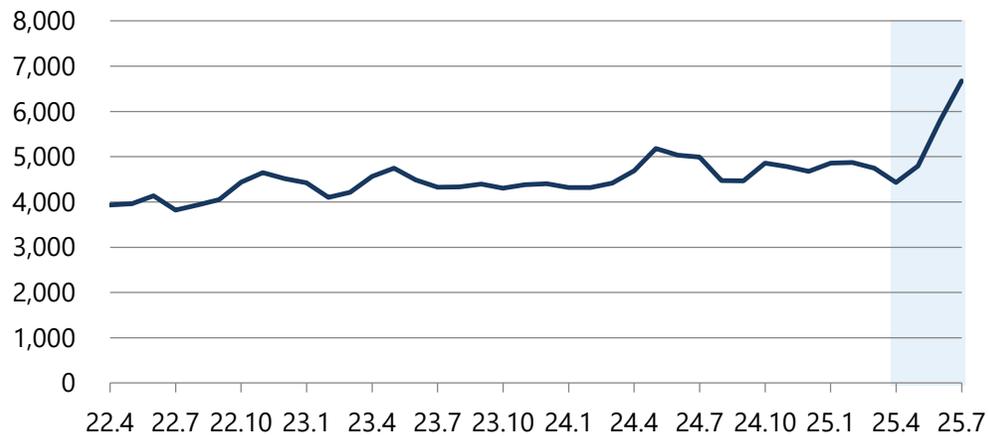
— 金 (山元建値 円/g)



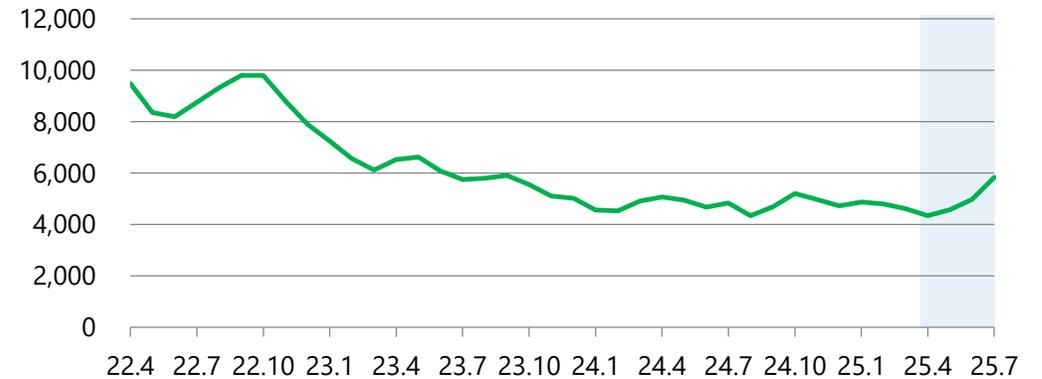
— 銀 (山元建値 円/g)



— 白金 (N・Y\$建円換算 円/g)



— パラジウム (N・Y\$建円換算 円/g)





松田産業株式会社

MATSUDA SANGYO CO., LTD.